

こんにちは うみ議会です

2025.5.15

No. 97

うみ議会だより
3月定例会



最強護身術合気道で 身を守ろう!!

宇美町合気道祥雲塾が奉納演武会を開催

うみ
議会だより

第97号

◆発行/福岡県宇美町議会
◆編集/議会広報常任委員会
◆印刷/松影堂印刷(株)
◆発行日/令和7年5月15日

〒811-2192

福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号
TEL: 092-934-2248 FAX: 092-933-2281
E-mail: gikai@town.umi.lg.jp

← P2 まちの魅力をうみだす予算

← P8 一般質問 町政を問う8人が登壇

← P14 委員会活動報告



16ページに関連記事を掲載

Koe Meter
声メーター
実施中!
議会広報が聞いたみなさんの声
2022.3から

134

表紙にも掲載
しています

議会広報 インタビューシリーズ

第16弾

子どもたちの
笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てて
いきます

改修が進む武道館で奉納演武会

宇美町立武道館は、設備の故障や老朽化のため、令和6年8月から段階的に改修が行われています。

現在は、トイレや空調設備などの改修を終え、利用者の利便性が向上しました。今後、外壁や屋根などの改修が行われ、避難所としての機能もより強化されます。

2月23日(日)に宇美町合気道祥雲塾の奉納演武会が開催されたので、利用者の声を聞いてきました。

トイレが綺麗になったことが嬉しい



ご家族で参加している、宇美中央にお住まいの小林悠子さん。
「女性への配慮も行き届いていて、我が家が一番に避難する施設として、とても安心です。」



おむつ替えベッドやオストメイトトイレも設置

空調完備で生涯武道の拠点施設に



祥雲塾は、来年で創部50周年。和気あいあいと活動されています。

「エアコンが完備されたので熱中症のリスクが減り、稽古に身が入ります」と喜ばれていました。

議会からのひと言

武道館は、災害時の避難所に指定されている施設のため、トイレや空調設備の改修を提案していました。

利用者に喜ばれる施設改修につながりよかったです。

議会広報 WEB アンケート

創刊100号に向けて、これまで以上にわかりやすく、丁寧に情報をお伝えしていきますので、読んだ感想をぜひ、右部のWEBアンケートからお聴かせください。



議会傍聴メーター

Gikaiboutyou Meter
2022年3月議会からの傍聴者 累計
3月定例会は22人が傍聴に来られました

232

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫 / 委員 高橋 紳章
副委員長 鳴海 圭矢 / 委員 安川 禎幸
委員 安川 繁典 / 委員 小林 孝昭

議会からのお知らせ

- ◆ 議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会が開かれます。
- ◆ 議会ホームページからは生中継がご覧いただけます。
- ◆ 傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入口で住所・氏名をご記入ください。

次回の議会は6月10日に開会予定です。

動画でご覧いただけます。



まちの魅力をうみだす予算

3月定例会は、3月6日から3月21日までの16日間の会期で開かれ、町長から提出された令和7年度当初予算をはじめ、人事、条例、補正予算などの24議案と議員発議1件を全て原案どおり可決しました。一般質問では8名の議員が町政全般にわたって13項目の質問を行い、令和7年度当初予算(一般会計など5会計)は特別委員会を設置し、集中審査を行いました。

こどもの育ちを応援!

子ども教育総合支援センター 条例の一部改正

学びの多様な学校を設置することに伴う規定の整理。



令和7年4月 うみハピネス内に 宇美町立学びの多様化学校を開校



ラーニングルーム



交流スペース

宇美町立学びの多様化学校
原田小学校ハピネス分校
宇美南中学校ハピネス分校



詳しくはこちらから

一般会計
当初予算

水泳学習業務委託事業

前年度、原田小学校で試行した水泳学習の民間委託を、町内全小・中学校で実施。

拡充

2521万円

問

答

水泳学習の民間委託のメリットと既存プールの今後の活用方法は、メリットは児童生徒の安全面と技術向上。昨年度の試行では学校で行う授業の3倍程度の監視が行え、また早い段階での技術向上が見られた。児童や保護者からもぜひ続けてほしいとの声をいただいている。既存プールは、当面は防火水槽として維持し、町、そして子どもたちにとって有益となる活用を検討する。



池田 健太 さん

プールでの悲しい事故を防ぐことにつながるため大変ありがたいと思います。技術の定着も期待されるため、保護者としてもぜひ続けていってほしいです。

議員報酬及び費用弁償等に関する 条例の一部改正

令和7年4月からの議員報酬額見直しに伴う規定の整備。25年ぶりに5%の増額。

一般会計
当初予算

運送事業者等支援金給付事業

エネルギー価格や物価高騰の影響を受けている運送・交通事業者に対し、事業と雇用の維持を支援する。

新規

1425万円

問

答

納品時期は、トレーラータイプではなく、トラックタイプを選んだ理由は、

令和8年1月から2月の予定。災害派遣トイレネットワークへの参加を検討しており、けん引免許を必要とせず、準中型免許で運転が可能であること、またトレーラータイプと同等数のトイレ数も確保できるため。

一般会計
当初予算

防災トイレトラック購入事業

災害時の衛生的で安全なトイレ環境を確保し、被災者の健康維持を図るため、防災トイレトラックを1台購入する。

新規

2858万円



廣田 一宏 さん

災害時のトイレ環境がよくなることで、ストレス削減につながる。なるべく災害ではなく、イベントで活用されることを願っています。



◀災害派遣トイレネットワークとは

一般会計
当初予算

窓口支援システム導入業務

住民の利便性向上のため、申請書の自動作成やシステムとの連携により申請者の負担を軽減する。書かない窓口、回らない窓口、待たない窓口の実現を目指す。

新規

1100万円



平原 ますみ さん

若い頃に手を痛めてしまい、文字を書くことが大変なため、「書かない窓口」は本当に助かります。

工事請負
契約締結

武道館外壁・屋根及び内部等 改修工事

避難所としても活用される町立武道館の外壁・屋根・内部・外構の改修工事などを行う。

2億5630万円
で契約

工事請負
契約変更

町道竹ヶ下く桜ヶ丘線災害復旧工事

令和7年度の工事完了を目指し、アンカー定着地盤調査の追加、アンカー長の変更などの工事を追加したことによる増額。

6408万円
増額

監査委員の任命

平島 忠雄 氏(再任)

人権擁護委員候補者の推薦

中原 貴子 氏(新任)

一般会計

問 児童生徒に貸与しているタブレットの入替えは間に合うのか
藤木 泰議員

答 2学期に間に合うよう県に要望している。

問 中央公民館付近の河川のごみ投棄防止のため防犯カメラの設置は
小林 孝昭議員

答 河川側のごみは課題と認識している。看板を設置するなど、まずできるところから対策を検討したい。

問 法人町民税当初予算が増額となっている根拠は
安川 繁典議員

答 令和6年度の状況と過去の実績に基づいて推計した金額となっている。

問 学校LED化工事に物価高騰支援臨時交付金を使うのは適切か
丸山 康夫議員

答 従来の学校施設整備交付金だけでなく、物価高騰支援臨時交付金も活用を認められている。

問 戦没者慰霊への若い世代の参加の考えは
鳴海 圭矢議員

答 過去、中学生が参加したことがある。今後、検討したい。

問 地域コミュニティ支援事業の地域創生の活動内容は
高橋 紳章議員

答 外部講師による研修会、校区協議会との意見交換会、デジタルツールを活用した事業展開、執行部の研修など。

問 プレミアム商品券の紙媒体での発行の考えは
鳴海 圭矢議員

答 県補助金は電子化が条件となっている。リフォーム券については紙媒体で検討している。

問 避難行動要支援者の把握状況は
平野 龍彦議員

答 約8割の方がアンケート調査に回答。避難できない方64名、個人情報の提供に同意された方58名。

問 有害鳥獣捕獲委託料、有害鳥獣・林道等巡回管理業務委託料の内容は
安川 禎幸議員

答 有害鳥獣捕獲委託料は猟友会に対する補助。有害鳥獣・林道等巡回管理業務委託料は林道、水路、有害鳥獣のわななどの管理を事業団に委託。

問 2月に実施された認知症ケア「ユマニチュード」講演会の反応は
黒川 悟議員

答 アンケートでは当日の参加者86名中98%の方がよかったと回答。今後も開催要望があれば実施したい。

後期高齢者医療特別会計

問 資格確認書の交付状況は
鳴海 圭矢議員

答 現在保険証をお持ちの方は7月まで使用できる。新規加入者に対しては資格確認書が交付される。

国民健康保険特別会計

問 特定健診の受診率が上昇しているが、どのような効果があるのか
安川 禎幸議員

答 特定健診は生活習慣病の早期発見が目的。受診者が増加することで医療費適正化に繋がる。

上水道事業会計

問 配水管耐震化工事の状況は
小林 孝昭議員

答 能登半島地震の後に国の耐震化補助金が交付されるようになった。これを活用して令和6年度までに20%耐震化の見込み。

流域関連公共下水道事業会計

問 下水道供用開始区域内で下水道に接続されていない件数は
白水 英至議員

答 令和5年度末では約860件。法では3年以内に接続となっているが罰則はない。今後も周知に努める。

令和7年度
当初予算を審査



議員はここに注目

3月定例会では当初予算審査特別委員会を設置し、令和7年度の事業のベースとなる当初予算の審査を行いました。ここでは、主な質疑を要約してお知らせします。

二次元コードから動画をご覧いただけます



特別会計



一般会計

当初予算審査特別委員会 委員長 丸山康夫 議員

当初予算の概要

※万円未満四捨五入

一般会計	予算総額	151億2784万円
------	------	------------

後期高齢者医療特別会計	予算総額	6億7767万円
-------------	------	----------

国民健康保険特別会計	予算総額	38億1525万円
------------	------	-----------

上水道事業会計	収益的収入	7億6974万円
	収益的支出	7億4660万円
	資本的収入	6832万円
	資本的支出	4億1075万円

流域関連公共下水道事業会計	収益的収入	9億5984万円
	収益的支出	8億7459万円
	資本的収入	4億 575万円
	資本的支出	6億5548万円

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名											審議結果	討論など
	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰		
宇美町職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名											審議結果	討論など
	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰		
宇美町監査委員の選任	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	同意	無記名投票
人権擁護委員候補者の推薦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	適任 答申	簡易採決
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約締結の議決内容の一部変更(令和5~7年度 町道竹ヶ下~桜ヶ丘線災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約締結(令和6・7年度 武道館外壁・屋根及び内部等改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
町税条例及び宇美町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する個人番号の利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成：鳴海
宇美町上水道企業職員及び下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決	
宇美町職員の勤務時間に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町子ども教育総合支援センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：安川(禎)
令和6年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

令和6年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：安川(禎)
令和7年度 宇美町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：安川(禎)
令和7年度 宇美町上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決	
令和7年度 宇美町一般会計予算	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：黒川
宇美町固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	同意	
宇美町職員等の旅費に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決	
(発議第1号) 宇美町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。

議会の活性化と人材登用を



宇美町議会議長 古賀 ひろ子

令和7年3月定例会を終え、今期の私たち宇美町議会議員の任期も残り1年を切りました。これまで取り組んできた議会改革について改めて点検し直し、議会活動の活性化をより一層進めたいと考えています。また、今定例会では議員報酬の条例改正案が議会に提出され、25年ぶりに議員報酬が見直されました。来年2月には町長・議会議員選挙が控えています。町政に関心のある方、また郷土を愛する方のより多くの立候補につながればよいと考えています。

「伝える」を「伝わる」に表現力を磨く！
～幅広い世代に議会や町政に関心を持ってもらえるように～

3月21日(金)に、全議員を対象に議会広報研修を行いました。

昨年度に引き続き、(株) 会議録センターの矢嶋洋美氏を講師にお招きし、広報の目を引く見出しの付け方や写真・キャプションの重要性など、実習を交えながら講義していただきました。

今回の研修で学んだことを生かし、議会活動情報をよりわかりやすく発信できるよう、努めていきます。



毎回引き込まれる、エネルギーでわかりやすい講義

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いたすことです。掲載内容は、質問者自身が要約し、広報常任委員会で校正しています。

- 丸山 康夫 議員 8P
◆学校体育館にエアコン設置を
- 白水 英至 議員 9P
◆安心安全・住みたい町・美しい町・うみ
- 鳴海 圭矢 議員 10P
◆町の下水道は安全か
- 小林 孝昭 議員 10P
◆「莓」をシンボルにした子育て支援のまちづくりを
- 黒川 悟 議員 11P
◆すべての人が投票しやすい環境づくりを
- 高橋 紳章 議員 12P
◆宇美町にこどもたちの居場所を
- 平野 龍彦 議員 12P
◆こども・子育て支援策の充実により少子化トレンドに歯止めを
- 安川 禎幸 議員 13P
◆地域猫活動の現状と課題は

議会をもっと身近に
ライブ配信・録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う議会・特別委員会をライブ配信と録画配信で公開しています。ライブ配信は傍聴に来られない方でも生中継で視聴可能。録画配信では分かりやすい字幕付きで気になる内容をいつでもご覧いただけます。ぜひご視聴ください。



▲配信はこちら



丸山 康夫 議員

学校体育館に
エアコン設置を

答 弁 令和7年度補正予算で
設計費を計上する

問 コロナ禍を経て子どもたちの体力は過去最低となっているが、本町の子どもの体力の現状と推移は。

答 学校教育課長
調査対象は、小学5年生と中学2年生で、全ての調査項目において、全国・県平均を下回る結果が出ている。
また、昨年度から1.65〜2.0ポイント下落している。

問 災害時の避難所にもなる体育館へのエアコン設置を国も強力に後押ししているが、財源はどのようになっているのか。

答 学校教育課長
令和6年度から臨時特例交付金が創設され、対象工事費に上限や条件はあるが、50%が支援の対象。
また、避難所の場合、充当率100%、交付税措置率70%の地方債を活用できる。

問 児童生徒の命を守るため、また避難所にもなる体育館へのエアコン設置は極めて重要である。

答 学校教育課長
令和7年度中に設計の予算を計上することを提案するが、見解は。

問 児童生徒の命を守るため、また避難所にもなる体育館へのエアコン設置は極めて重要である。

答 教育長
エアコン設置に向けたロードマップを早急に作成する。
令和7年度中に補正予算を組み、設計に着手する。



エアコン設置で学校体育館が快適空間へ

問 河川の維持管理に関する自治会などからの要望内容は。

答 都市整備課長
町に対する要望内容は、令和5年6月に原田地域を流れている井野川上流の川底に大量の土砂が堆積し、草も生い茂っている。また、ゴミ投棄による水質汚染や災害時に増水した際に氾濫や洪水の危険性を心配しているというものであった。

問 近年、線状降水帯が発生後にゲリラ豪雨となり、短時間に多量の雨が降ることもある。河川沿いは通学路も多いが子どもたちの安全対策は。

答 学校教育課長
河川の管理が行き届かず通学に影響がある場合は、危機管理上、通学路として望ましくない。大規模な大雨の場合は、臨時休校などの対応を検討する。

問 自治会などからの要望に県と町はどのように対応するのか。

答 都市整備課長
井野川上流は、町が管理をするため、草刈りや樹木の剪定などを行っている。河川内は状況

問 住みたい町・美しい町づくりのため、河川の清掃も大事であると思うが町長の見解は。

答 町長
河川の大部分は県が管理し、町は対応を県に依頼している。県は限られた予算の中で、順次対応されている。また、緊急性のある案件は担当課長や副町長を派遣し、強く要望する場合もある。きれいな河川を引き継ぐ

質問を終えて
令和7年度に補正予算を計上し、設計に着手すると回答を引き出したことは大きい。



白水 英至 議員

安心安全・住みたい町
・美しい町・うみ

答 弁 きれいな川を引き継ぐ
ため、河川管理は大切

問 町民の命を守るため、河川の氾濫を予防しなければならぬ。そのため、計画的な維持管理が必要と思うが。

答 都市整備課長
計画的な維持管理は必要だと考えている。河川内に生えている雑木は、河積阻害の可能性が

問 河川の維持管理に関する自治会などからの要望内容は。

答 都市整備課長
町に対する要望内容は、令和5年6月に原田地域を流れている井野川上流の川底に大量の土砂が堆積し、草も生い茂っている。また、ゴミ投棄による水質汚染や災害時に増水した際に氾濫や洪水の危険性を心配しているというものであった。

問 近年、線状降水帯が発生後にゲリラ豪雨となり、短時間に多量の雨が降ることもある。河川沿いは通学路も多いが子どもたちの安全対策は。

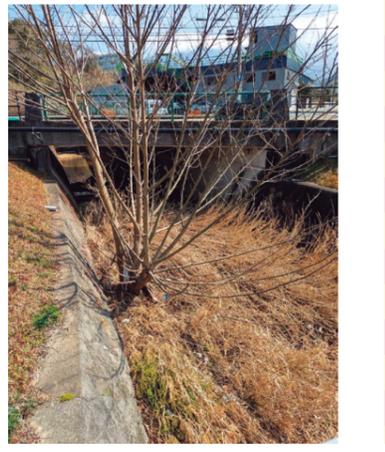
答 学校教育課長
河川の管理が行き届かず通学に影響がある場合は、危機管理上、通学路として望ましくない。大規模な大雨の場合は、臨時休校などの対応を検討する。

問 自治会などからの要望に県と町はどのように対応するのか。

答 都市整備課長
井野川上流は、町が管理をするため、草刈りや樹木の剪定などを行っている。河川内は状況

問 住みたい町・美しい町づくりのため、河川の清掃も大事であると思うが町長の見解は。

答 町長
河川の大部分は県が管理し、町は対応を県に依頼している。県は限られた予算の中で、順次対応されている。また、緊急性のある案件は担当課長や副町長を派遣し、強く要望する場合もある。きれいな河川を引き継ぐ



河川内の樹木。対策が必要では

質問を終えて
河川は住民の生活道路沿いが主であり、町外の方々も通る道でもあるので美観も大事にしたい。

すべての人が投票しやすい環境づくりを



録画配信

答 弁 必要な支援がスムーズに受けられるよう取り組む

くろかわ さとる 黒川 悟 議員

問 自分で投票用紙に書くことができない方や視覚に障がいがある方の投票方法はあるか。

答 総務課長
心身の故障、その他の事由により候補者の氏名を記載することができない方の投票方法は、代理投票の制度が利用できる。投票所の係員が付き添い、本人の意思に基づき氏名を記載する。なお、付き添いの家族や介護者などの代筆はできない。

問 一人で投票できない方に対して、家族や介護者が投票所内で支援をすることは可能か。

答 総務課長
付き添いや看護が必要な場合は、一緒に入り、必要な支援をすることは可能。しかし、投票

の秘密を守ることや本人以外の干渉を避けるため、記入や投票の際は係員が介助を行う。

問 郵便による不在者投票ができる方の条件、またその方法は。

答 総務課長
重度の障がいがある方や要介護5の方が対象の制度。選挙管理委員会から郵便等投票証明書の交付を受け、投票用紙などの請求を行う。送付されてきた投票用紙に記入し、投票用封筒に入れ、選挙管理委員会に送付することで投票できる。

問 聴覚や発声に障がいがある方が困りごとを伝える方法でコミュニケーションボードを使用している自治体もあるが、使用

する考えは。

答 総務課長
聴覚や発声に障がいがある方には、筆談によって対応してきたが、筆談よりも円滑に意思疎通ができることから、導入することにした。

問 投票所で必要な支援を簡単に伝えることができる「投票支援カード」を導入する考えは。

答 総務課長
支援が必要な方が利用することによって、口頭で説明をすることなく、支援をスムーズに受けられることから、コミュニケーションボードと同様、導入することにした。



誰もが投票しやすい環境の整備を

質問を終えて

平等に選挙に参加でき、また、誰もが投票しやすい環境となることで、投票率が上昇することを願う。

「苺」をシンボルにした子育て支援のまちづくりを



録画配信

答 弁 「子育てするなら宇美町で」につながるなら活用したい

こばやし たかあき 小林 孝昭 議員

の波及効果が期待できる。

問 苺農家への支援とAIを使った「宇美産苺」の可能性は。

答 都市整備課長
栽培圃場の紹介、栽培技術の習得や資金計画の情報提供を行っている。

AIを使ったスマート農業は技術面と資金面でのハードルが

高い。サポートは行いが、最終的には生産者の意欲と設備投資に係る資金、事業計画が重要となる。

問 「苺×宇美町」を活用した観光振興やイベント開催の可能性は。

答 シティプロモーション課長
苺の生産が先か、苺を使ったイメージ戦略が先かはあるが、観光振興やイベント開催では町内事業者の協力も必要となる。そこにたどり着くまでの「苺×宇美町」のストーリーの確立がなにより重要だと考える。

問 苺の生産が可能となった際、子どもたちに学校の授業でAIを使用したスマート農業の体験

や食育につなげられないか。

答 学校教育課長
町内でスマート農業をされる方がおり、地域連携ができれば体験学習は可能。

また、学校で行う「食に関する指導」や家庭・地域で行う「食育」につなげることも可能だと思ふ。

問 「苺×宇美町×AI(愛)」お母さんと子どもを大切に育てる町」を発信し、未来の世代に繋いでいくまちづくりへの考えは。

答 こどもみらい課長
苺の生産と関連した取組は行っていないが、今後、苺を使った子育て支援の取組が可能で、それを町内外に発信できれば、



苺生産から子どもの育ちを応援

より一層、取組に厚みが増すものではないかと考える。

質問を終えて

草冠に母と書く「苺」をシンボルとすることで、新たな宇美町の価値をうみ出せるのでは。

町の下水道は安全か



録画配信

答 弁 更新計画を立て、適切な点検・予防を行っていく

なるみ けいいち 鳴海 圭矢 議員

埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、国土交通省から下水道管路施設緊急点検の通達が出されたが、最新点検結果は。

答 上下水道課長
今年度は、一部の幹線管路をテレビカメラで調査を行った。四王寺坂や若草、光正寺地区の面整備管についても点検しているが、老朽化などによる緊急性を伴うものは見受けられなかった。

問 今回の事故を受けて、下水道整備の予算配備に変更はないか。

答 上下水道課長
現時点では変更はないが、交付金の配分などによる国・県の動向を見ながら対応していく。

本町で八潮市のような大規模な下水道管破損事故が起きる可能性は。

答 上下水道課長
八潮市の事故は4750ミリの大口径下水道管であり、本町と規模に大きな差があるため、大規模な事故が起こることは考えにくい。ただし、規模が異なるとはいえ、老朽化、腐食による破損は起こり得る。

問 補修のために水道料金を値上げせずにすむよう、今から老朽化への備えが必要ではないか。

答 上下水道課長
下水道管理課から37年経過(耐用年数50年)。現在まで老朽化や腐食による修繕・更新はない。

今後、既存の管内に樹脂コーティングを行うなど、将来を見据えた更新計画を検討する。

問 万が一、下水道管の破損事故が起きた場合の対応は。

答 上下水道課長
仮に破損した場合、場所によっては広範囲での下水道の使用ができなくなり、使用制限をかけた後、汲み取り運搬などの対応が必要となる。自然流下で処理する下水道管の破損は緊急的な対応が難しいことから、適切な点検と予防が大事と考える。



1200か所の目視点検

質問を終えて

耐用年数まではまだ猶予があるため、今からしっかりと対策を練ってもらいたい。

地域猫活動の現状と課題は



録画配信

答 弁 「人と動物が共生する社会」を目指して地域猫活動を推進する
(町長)

やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

問 地域猫の団体数・個体数及び不妊去勢手術の件数は。

答 環境課長
地域猫活動は、地域住民が協力して行う猫と人間が共存するための取組。飼いがいない猫との共生が課題となるが、その解決策となるのが「TNRM」活動。
◆「TNRM」活動とは◆
[Trap] 捕獲器を使用した一時保護
[Neutral] 不妊・去勢手術を行い、目印として耳先をカットする
[Return] 手術後の猫を元の場所に戻す
[Manage] 餌やり、トイレの管理など

問 地域猫の治療費、埋葬料の助成がでないか。

答 環境課長
地域猫団体間のネットワーク構築ができれば、お互いに活動報告や情報交換を行うことでより効果的な活動ができる。活動団体の意向などを聞き取りながら進める。

問 豊かな自然環境と調和した心地よい暮らしをうみだす町の将来像は。

答 町長
本町では県ワンヘルス計画の指針「人と動物が共生する社会」を目指して地域猫の「TNRM」活動を推進している。
地域猫活動をはじめ人間と動物の命や健康、環境の健全性などの課題を解決し、よりよい社会を築いていくことが肝要である。

質問を終えて

豊かな自然環境と調和した「心地よい暮らし」をうみだすまちの実現に向け、地域猫活動がより一層活発化することを期待したい。



原田下自治会「猫カフェ」
毎週水曜日営業中！

こども・子育て支援策の充実により少子化トレンドに歯止めを



録画配信

答 弁 これからも選ばれる町を目指す
(町長)

ひらの たつひこ
平野 龍彦 議員

子育て支援に取り組んでいる。
問 昨年10月に新宮町では、第2子(0から2歳児)の保育料無償化を発表したが、本町の考えは。
答 こどもみらい課長
保育料無償化は、待機児童の問題や町の財政面に課題がある。本町は、待機児童ゼロの施策

や心身の安定などを目的に家事・育児をサポートしてくれるもので、家事支援の利用は可能である。
問 本町の中心市街地に、誰もがいつでも自由に遊べる町の顔
答 町長
これまで力強くこどもどもまんなか宣言となるよう子育て支援に取り組んできた。これからも「子育てするなら宇美町で」を

問 少子化対策として、国のこども大綱は社会全体で子育てを応援し、こどもまんなか社会の実現を求めているが、町長の考えは。
答 町長
これまでも力強くこどもまんなか宣言となるよう子育て支援に取り組んできた。これからも「子育てするなら宇美町で」を

質問を終えて

国のこども大綱に基づき、さらに「こどもまんなか社会」の実現を目指し、少子化トレンドにストップを。



親子連れなど誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場を！

宇美町にこどもたちの居場所を



録画配信

答 弁 こどもたちの声に耳を傾け、取り組む
(町長)

たかはし のぶあき
高橋 紳章 議員

令和6年11月 宇美町教育の日
こども会議

議 題
「宇美町のすべてのこどもが笑顔になれる場所」

こどもたちの提案
「既存の施設を利用し、地域の方々と交流ができ、楽しく、気軽に、誰でも学び・集える場所が欲しい」

問 こどもみらい課長
既存の施設を活用し、居場所を増やす考えは。
答 こどもみらい課長
「地域こどもの生活支援強化事業」や宇美中学校で開設している「エンジョイウミ」での利用状況と成果、課題を検証して、今後の継続性に向けて居場所の数を増やしていきたい。
※エンジョイウミ…こども会議での提案により実現した町内の小・中・高生の学習や語らいの場

問 こどもみらい課長
今後の構想は、これらの事業を通じて、こどもたちが安心して学べる、集う、語らえる居場所、そこに地域の方々が関わっていただける居場所の提供ができるような施設を考える。
答 町長
既存施設での居場所を増やすために、例えば、中央公民館での学習室をうみハピネスでも行うなど具体的な検討を行うとともに、こどもたちの意見に耳を傾け、政策に反映していく。

質問を終えて

次世代を担うこどもたちが学び、集える居場所づくりの早期実現に期待する。



篠栗町の児童館。こんなすばらしい場所が本町にも欲しい

「医療費適正化に向けて！」医療情報等分析中間報告

2/19 健康課医療費適正化推進室が実施している医療情報等分析業務と介護情報等分析業務の中間報告会が行われました。

委託業者からの詳細な報告と医療費適正化推進室の担当保健師による本町の医療費の現状、中間点での分析結果、今後のスケジュールなどについての説明と「今後も分析を進め、効果的な事業を検討していく」との報告を受けました。



担当保健師からの丁寧な説明を受ける議員



分析最終報告と取組に期待

後期高齢者医療費の適正化は本町の大きな課題であるため、今後行われる医療費分析の最終報告と最新データを基にした医療費適正化の取組に期待し、委員会でも引き続き調査・研究を行っていきます。



プチ情報

本町ではアプリを使用した健康推進サポートを行っています。

詳しくはこちらから→

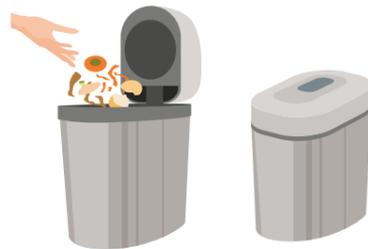


「生ごみ減量化&再資源化」生ごみ処理機購入助成金

一般家庭から出る生ごみの減量化と再資源化を推進するため、本年4月から家庭用生ごみ処理機の購入に対する費用が町から助成されています。

- ◆助成金額 一律3万円
※購入価格が3万円未満の場合は購入額
- ◆助成期間 令和7～11年度(予定)

詳しくはこちらから→



生ごみ処理機って…?

乾燥または微生物による分解によって、生ごみの減量やたい肥化させる機器



議会からの提案、実現へ！

議会で提案していた購入費助成がスタートしました。これを契機にごみの減量が進むことを期待しています。

議員が聞いた町の声

費用が気かりでしたが、これを機に検討してみます



「高めよう!! 地域防災力」粕屋南部消防署と意見交換

2/17 粕屋南部消防署で「宇美町における地域防災リーダー育成などの地域防災力向上について」をテーマに意見交換を行いました。本町では、防災士・防災リーダーとなる人材育成研修を計画的に行っていく予定であり、粕屋南部消防署からは「協力は惜しまない」と心強いお言葉をいただきました。



藤木副議長



古賀議長

防災士・防災リーダー育成には、継続して防災について学べる環境づくりが重要

消防署の持つ知識・ノウハウや防災センターをぜひ活用してください



城戸消防長



安川委員



黒川委員長

今後とも本町の地域防災力の向上のために協力・連携をお願いします

協力は惜しみません



桑野署長



松永総務課長



議会も取り組む

各地域で防災士・防災リーダーが活躍できる体制づくりのために、今後とも各種団体との連携が図られるよう取り組んでいきます。



防災士の資格を取得しませんか？

防災士の資格取得費用が助成されます

- ・防災の知識を身に付けたい方
- ・防災活動に意欲がある方
- ・地域の防災力向上に貢献したい方



詳しくはこちらから→



「うみまちハーブを特産品に！」薬用作物栽培事業



障子岳農区内の圃場でローズマリーの収穫

2/14 総務建設常任委員会で宇美町薬用作物生産部会が取り組まれているローズマリーの栽培と出荷の状況が報告されました。

中山間地の米作りには適さない農地を活用して栽培されたローズマリーは、乾燥、仕分け作業を経て、昨年は約200kgが出荷されました。



期待しています

薬用作物生産部会の皆さんが丁寧に育てたローズマリーが、宇美町を代表する特産品になることを期待しています。



出荷先を確保することが大切で、現在は大野城市に本社がある三省製薬(株)が全量買い取ってくれていることがありがたい。

宇美町薬用作物生産部会 部会長 藤木匠さん

